

# 清水きよし12年間の実績！ 行革の成果を基に取り組んだ「住み続けたいまち」 徹底した行革で財政を劇的に改善！

● 市役所の部の数は6部から4部。課は33課から27課へ。  
● 職員数は789人から684人へ。

## これらの結果

- 市民一人当たりの市役所人件費は県内37市の中で5番目に少ない状況。  
→ 右ページ・図1参照
- 市の基金(貯金)は市制施行以来最高の65.9億円(H25年度末)へ増加  
→ 右ページ・図2参照

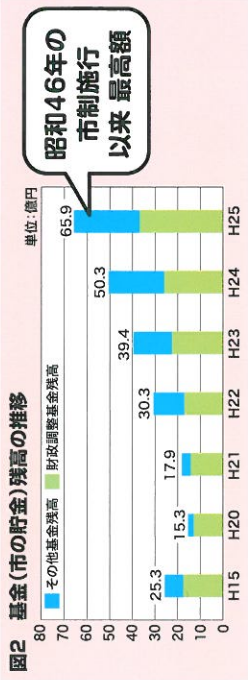
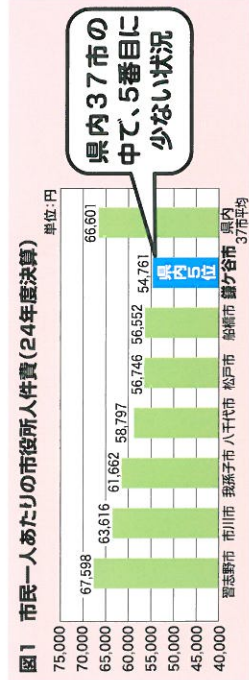
## 得られた財源を活用して

# 子どもからお年寄りまで安心して暮らせ、 ずっと住み続けたい街へ

- 従来の計画を前倒し「市内全小中学校の耐震化率100%」と「災害用備蓄倉庫設置率100%」を25年度に実現
- 民間保育所や駅前保育所の開設・増設  
→ これにより保育所定員は、14年度初620人→26年度初999人(1.6倍)
- 子ども医療費助成対象(通院・入院)を中3まで拡大(26年4月～)
- 「さらり先生」(少人数指導教員)、「ほほえみ先生」(特別支援教育推進指導教員)「学校図書館司書」の全小中学校への配置(24年度に全校配置)(県内では袖ヶ浦市と本市のみ)
- 老朽化した学校給食センターを建替え、新しい学校給食センターによる給食の提供(26年4月～)
- 民生委員や自治会などと連携した高齢者孤立対策見守り事業(24年度～)
- 特別養護老人ホーム(2ヶ所)の開設(23年度、これで市内計4ヶ所)
- 防犯パトロール隊の設立(14年の5団体から24年の48団体へ)市内の犯罪発生件数は14年の2,186件から24年に1,322件へ大幅減少
- 「さらり鎌ヶ谷市民会館・さらりホール」の開館(26年4月)イトヨーカ堂が建設費を負担することで他市より1ヶタ少ない市費で完成

## 緑と都市化のバランスのとれた発展

- 新鎌ヶ谷地区の街びらき(16年4月)  
イオン、アクロスモール、鎌ヶ谷総合病院、東横イン、交番等
- 都市計画道4路線の開通
- 日本ハムファイトアーズと連携した魅力づくり
- 粟野地区公園の開園(26年4月)



## プロフィール

昭和35年生まれ  
昭和59年3月 早稲田大学法学部卒業  
昭和59年4月～ 伊藤忠商事(株)  
(海外市場部・国際金融部等に所属)  
平成2～4年 米國ペンシルバニア大学大学院  
ウォートン・スクールMBA取得  
平成6年6月 外務省(米國、インド、震が関に在勤)  
平成14年6月 外務省経済協力局課長補佐をもって退官  
平成14年7月 鎌ヶ谷市長就任  
平成18年7月 同 2期目就任  
平成22年7月 同 3期目就任  
現在 北千葉道路建設促進期成同盟会長、  
柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合管理者、  
鎌ヶ谷市防犯協会会長、千葉県市長会副会長  
全国市長会経済委員会副委員長  
家族 妻、娘(高校1年生)  
趣味 ソフトボール、ラグビーなどのスポーツ

## 清水きよし後援会会則(抜粋)

- 第一条 この会は清水きよし後援会(以下「本会」と言う)と称する。  
第二条 1) 本会の主たる事務所を会長宅に置く。  
2) 前項の事務所の他必要に応じて従たる事務所を置くことが出来る。  
第三条 本会は清水きよし氏の政治活動を後援するとともに会員相互の親睦を図ることを目的とする。

発行人：清水きよし後援会会長 大野照光  
**清水きよし後援会事務所**  
鎌ヶ谷市道野辺本町2-1-33 (東武鎌ヶ谷駅南隣・高架下)  
Tel 498-9451 Fax 498-9453

# 子どもからお年寄りまで ずっと住み続けたい街へ しみず 鎌ヶ谷市長 清水きよし

討議資料